

おじやりやれ

「おじやりやれ」八丈島に初めて降り立った3年前に、底土港で迎えてくれた八丈島に住む先輩が、私にかけてくれた言葉です。昨年度まで三宅島にて勤務していた小生は、同じ航路の八丈島に、度々身を寄せました。「おじやりやれ」とは八丈島の方言で「いらっしゃい」という意味です。三宅島から出向いたにもかかわらず、その言葉を聞いた時、南国情緒がさらに増して、そのあとに続く旅への期待が膨らみました。この八丈島の方言は、ユネスコ(ユネスコでは言語と方言を区別せず言語で統一している)が消滅の危機にある日本国内の8言語のうちのひとつとして認定しています。ユネスコでは言語が消滅する要因として主に3つを挙げています。

① 都市化の進行 ② 経済力の集中 ③ 文化の均衡化

6月20日3年B組に入ると「消滅危機言語を守る人」という題材で道德の授業が展開されていました。スクリーンには、方言を守る人々活動や、国立国語研究所の先生方による方言の研究などが紹介されていました。また保護活動の成功例として、ハワイ語の紹介がありました。1980年代にはハワイ語を話せる人は50人程度となりました。ハワイ語を復活させる団体が設立されると共に、ハワイ州教育省はハワイ語の教育に力をいれ、ハワイ大学による教育プログラムの設定、ハワイ語月間を制定したようです。今では26000人以上が話せるといえます。

さて、6月11日は清瀬駅開業100周年の記念日でした。本校出身のアーティスト中森明菜さんからのお祝いの言葉が清瀬駅に掲げられました。何を隠そう、小生は中森明菜さんのファンです。デビュー曲「スローモーション」はレコードで発売され、お小遣いをはたいて購入しました。5曲目のシングル1983年のリリースの楽曲「トワイライト-夕暮れ便り-」には特に思い出があります。来生えつこ作詞来生たかお作曲姉弟によるバラード作品です。純粋な恋心を綴った歌詞は、

激動というよりは丁寧な物語でありながら、中森明菜さんの歌唱力によって、劇的にエンディングへといざない、聴く者を魅了していきます。丁寧な物語といえども、来生えつこさんの言葉の選択とたかおさんの柔らかな曲調に小生はいつも感動をいただいております。「こめかみには 夕陽のうず」夕陽が渦巻くなど感じたことはないし、瞳に飛び込むのではなく「こめかみには」そんな場面があるのかと、衝撃を受けたことを覚えています。「元気です 一行だけ したためて」この曲を聴いて、初めて「したためる」という言葉とその意味を知りました。「ひとこと書きあぐね」あぐねるも同様です。中森明菜さんは素敵な言葉をたくさん教えてくださいました。

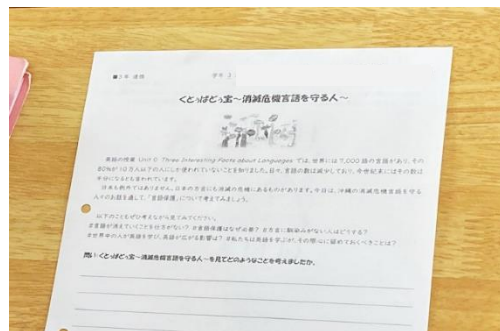
コミュニケーションの手段がSNSが主流となった今、「したためる」とはなくなり、「打ち込む」ことが言葉を綴る手段なのでしょう。「したためる」という行為が無くなるのなら、言葉もいつか消えていきます。

「おじやりやれ」といった方言ばかりが消滅の危機に瀕しているわけではなく、身の回りの言語も消滅の危機と背中合わせです。言葉を守るということはその背景にある文化を守ること。

「明日もう一度 心をこめて 手紙を書くつもり」

『心をこめて』絶対に消滅させてはならぬ言葉。

社会総がかりで心をこめるSNSの文化を構築しなければなりません。



「トワイライト-夕暮れ便り-」

こめかみには 夕陽のうず
てりかえす海 太陽にそまる
日傘の下 目を細めて
あおいだ景色 あなたにも見せたい
絵はがきを 一枚だけ
さりげなく あなたへ出す
元気です 一行だけ
したためて ポストへ落とす
やはりあなたと 一緒にいたい
ひとこと 書きあぐね
感じますか 届きますか
このたそがれと 恋ごろまでも
まぶしいほど 苦しいほど
あなたへの愛 迷わない 今なら
明日もう一度 心をこめて
手紙を書くつもり
感じますか 届きますか
このたそがれと 恋便りまでも
あなたが好き 苦しいほど
もう迷わずに 今日からは言えます